



発行所
公益社団法人 全国珠算教育連盟
道央支部

〒064-0802

札幌市中央区南2条西25丁目2-19

TEL 011-644-1635

FAX 011-676-8668

syuzan04@rondo.ocn.ne.jp

<http://web-g.jp/douou88/>

発行者：支部長 村岡 秀仁

編集者：広報部長 高田 直美



大会観戦記(道央支部:中村晴兆)

令和8年8月8日(そろばんの日)8が3つ並ぶ記念すべき日。全国から精鋭702名が参加し「令和8年度全日本珠算選手権大会」が、国立京都国際会館において開催されました。道央支部からは39名の参加となりました。

◆大会前の支部開催の合同練習会

8月6日は23名、7日は31名の参加者を集い、京都府立文化芸術会館にて開催。大会当日の個人総合競技をはじめ都道府県競技・種目別競技の練習をしました。本番を想定した緊張の中、真剣に取り組んでいました。最後に当日の競技にあたっての細かい注意事項と取り組む姿勢についての確認をして解散。お昼には参加者全員で府立医大の学食で昼食、飲み物やアイスの差し入れもあり、和やかな一面もありました。



◆個人総合競技

緊張した雰囲気の中「よーい はじめ」で始まった後、「シャー」という、とても爽快な心地よいそろばんの音。暗算で計算し即座に「カリカリ」と答えを記入する音が入り交じり、あっという間の制限時間。「やめい」競技委員の声が会場に響き渡る。それを6回繰り返してすべての計測が終わり、交換採点。私が観覧していたすぐ前には、小学校1年生の参加選手をはじめ2・3年生の選手が競技にチャレンジしていましたが、堂々と挑戦している姿と、しっかり遅れることなく交換採点をしている姿を見て感心していました。全員が採点終了。結果が本人に戻り、1,480点以上の選手17名が紹介されました。そして競技委員による再審の結果、1,500点満点者がなんと6名。会場は大きな歓声と拍手。斎藤俊選手（青森県）、土屋宏明選手（宮城県）、原子弘務選手（埼玉県）、弥谷拓哉選手（埼玉県）、辻窪凜音選手（埼玉県）、足立鷲仁選手（兵庫県）の6名から本年度の日本一が決定することとなりました。



◆個人総合競技・そろばん日本一決定戦

白熱した同点決勝の結果、本年度のそろばん日本一は参加番号555番の辻窪凜音選手（埼玉県）に決定！辻窪選手は初となるそろばん日本一の栄冠を手にしました。

道央支部から参加した選手のうち、100位以内に10名がランキングされました。

◆フラッシュ暗算競技

スクリーンに高速で次々と表示される数字を瞬時に計算していく競技です。3桁15口4秒から始まった予選。その後3桁15口3秒、2.7秒、2.5秒、2.3秒、2.1秒、2.0秒、1.8秒と8題で予選終了。予選通過者13人で決勝が繰り広げられました。その結果、フラッシュ暗算でも、総合競技で栄冠を勝ち取った辻窪選手（埼玉県）が3桁15口1.52秒で、昨年に続き3度目の優勝を果たしました。辻窪選手は記録保持者（1.50秒）でもあります。道央からは1名が10位入賞しています。

◆都道府県対抗競技

各都道府県から選出された3名の選手（小・中・高校一般から1名ずつ）で競い合う「都道府県対抗競技」今回道央支部は1回戦からの出場となりました。1回戦は高知5点・千葉0点・道央13点で勝ち上がり、2回戦は広島5点・道央11点・奈良11点で奈良と同点でしたが、道央の方に高得点者がいたので辛勝。準決勝は東京1点・道央15点・三重12点で勝ち上がり、決勝戦は実力者が揃う愛知県、沖縄県との三つ巴。道央と愛知県が接戦のうえ、愛知県が13大会ぶり4度目の王座を手にしました。残念ながら道央は2位となりましたが、1回戦から果敢に攻めての結果でしたので、とても感動しました。代表



選手の皆さん～若松咲菜選手（小学生）後藤怜治選手（中学生）永井悠聖選手（高校生以上）～お疲れさまでした。

◆読上暗算競技

読み手が読み上げる問題を暗算で計算する「読上暗算競技」第1問目から第3問目まで連続正答した久保新選手（道央）と竹澤祥加選手（千葉県）2名の激戦となりました。

5度目の優勝おめでとう

☆優勝までの道のり（桁数はすべて5～16桁）

- | | | | |
|-----|-----|-----|----------|
| 1問目 | 加減算 | 66秒 | 3名正答 |
| 2問目 | 加算 | 52秒 | 3名正答 |
| 3問目 | 加減算 | 52秒 | 2名正答 |
| 4問目 | 加算 | 47秒 | 正答なし |
| 5問目 | 加減算 | 47秒 | 久保選手のみ正答 |

第5問目において5桁～16桁を正答した久保選手（道央）が、見事5度目の日本一（ここ6年の内5回の優勝／欠場1回）となる快挙を成し遂げました。なんと上位入賞者10名の内、道央が4名を占めています。感動です。10位入賞は5～13桁が必要という高いレベルでした。



◆読上算競技

超高速で読上げる1問目を正答したのは15名。この中に道央の選手が含まれず残念でしたが、優勝決定は6問目まで連続正答するハイレベルな勝負となりました。



※読上委員

今年はフラッシュ暗算終了後に、ステージ上で各委員が番号を書いた『うちわ』を引いて、読み順を決定しました。道央より選出された門脇委員は3番手でした。

令和8年度成績（道央支部関係分）

総合競技

10位	永井 悠聖	1,490	46位	弥谷 咲月	1,415
24位	奈良 優杜	1,465	60位	後藤 怜治	1,395
34位	若松 咲菜	1,445	85位	阿久津航生	1,360
34位	久保 新	1,445	90位	久保田留惟	1,350
40位	若松 尚弘	1,440	小学生		
40位	井伊 俊介	1,440	3位	若松 咲菜	1,445

フラッシュ暗算競技

10位	弥谷 咲月
読上暗算競技	
優勝	久保 新
4位	奈良 優杜
8位	後藤 怜治
8位	井伊 俊介



第60回道央珠算選手権大会

令和8年7月5日（日）札幌市生涯学習センターちえりあにおいて

標記大会が開催されました。総合競技は、4年生以下の部で満点2名
大林侑史選手と松井壱樹選手による決勝が行われ大林選手が優勝！栄えある第60回道
央珠算選手権者に輝いたのは札幌地区の奈良優杜選手で3冠達成です。

奈良優杜選手



道央珠算選手権者
読上暗算選手権者
読上算選手権者



今大会では、目標としていた3種目で選手権者になることができ、とてもうれしかったです。全日本に出場する有力選手が欠場していましたが、下の学年の選手たちの実力もどんどん上がってきていることを強く感じ、どの種目も大きなプレッシャーの中で挑みました。来年は、個人総合では満点を取り、決勝でも勝って優勝すること、読上暗算では5～16桁15口を正解して優勝すること、読上算では36秒台を正解して優勝することを目指しています。結果だけではなく、内容も伴った優勝ができるよう、休むことなく練習に励み、参加選手の中で「いちばん練習した」と胸を張って言えるくらい努力していきたいと思います。



フラッシュ暗算選手権者 若松尚弘選手



フラッシュ暗算選手権者の若松です。奈良優杜選手の4冠を阻止できて、ホッとしています(笑) 私はそろばんが生きがいで、選手をやめると、たぶん死んでしまうので、皆さまよろしくをお願いします!(^^)!

いっしょに切磋琢磨して、北海道のそろばんを盛り上げていきましょう！

なお、大会の成績は右のQRコードからご覧ください





総合競技 部門別優勝者

高校生以上の部



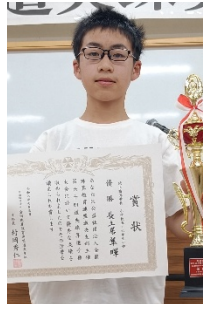
奈良優杜選手

中学生の部



後藤怜治選手

5・6年生の部



長土居隼暉選手

4年生以下の部



大林侑史選手



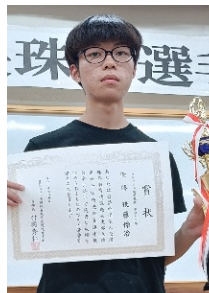
フラッシュ暗算競技 部門別優勝者

高校生以上の部



若松尚弘選手

中学生の部



後藤怜治選手

5・6年生の部

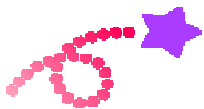


松村香那選手

4年生以下の部



若松 柚選手



読上暗算競技 部門別優勝者

高校生以上の部



奈良優杜選手

中学生の部



後藤怜治選手

5・6年生の部



長土居隼暉選手

4年生以下の部



奈良優佑選手



読上算競技 部門別優勝者

高校生以上の部



奈良優杜選手

中学生の部



阿久津航生選手

5・6年生の部



山田瑠心選手

4年生以下の部



土田夏維選手

祝 珠算 十段合格！



しょうじ はると
東海林 大翔

札幌中央地区 第430回検定 (11月)

現在:札幌市立栄南中学校1年



ぼくは珠算十段に2回目の挑戦で合格しました。1回目はそんなに受かる気持ちが強くなって、「受かればいいな」としか思っていませんでした。そして1回目の結果は開法だけが270点で合格点に届きませんでした。とても悔しくてそこから絶対受かりたい気持ちになりました。でも練習では2回しか十段の点数をとっていなかったのが全然安定していませんでした。

そしてむかえた本番当日。まさかのかけ算でタイマーが作動せず時間が分からなくなりました。めっちゃどうしようももうむりだと思いましたが、最後まであきらめずにやりました。検定が終わってからも毎日心配でした。そして検定結果が返ってきて1種目ずつ見てたら、心配だったかけ算が受かって、それ以外の種目も受かったたので安心しました。

でも本部の結果が分からなかったのも、また不安になりました。1、2週間後先生からわたされた通信のプリントに、数字ではなく言葉が書かれていました。最初、落ちたと書いているように見えたけど、よく見たら「変更なし。おめでとう！」と書かれていてとてもうれしかったです。

指導してくれた先生、送迎してくれた両親、一緒に戦った仲間、ありがとう。そしてこれからもがんばろう。

しながわ りりか
品川 莉里佳

札幌中央地区 第432回 (3月)

現在:札幌日本大学高等学校1年



『全てに感謝』

私の尊敬しているDJジャースの山本由伸投手がよくインタビューで口にする言葉です。

みなさんは、勝利への執念持っていますか？実は私は、今回の検定でかけ算が1題終わりませんでした。かけ算は最初の種目で、その後の種目にも影響するので、

十段を狙う人達にとっては結構なやらかしです。それでも私が十段に合格できたのは、「負けるわけにはいかない」という気持ちを持ち続けられたというのが大きな一因だと思います。

しかし、一番の要因は「感謝」です。私は、オリンピックで金メダルを取る人、ノーベル賞を取った人、何かの大会で優勝した人がほぼ共通して言っていることを見抜いてしまいました。

「まずは、協力してくれた人達に感謝したいです。」

浮かれても良い場面なのに、絶対に感謝を忘れないんです。超かっこいいですよね。私は感謝を忘れない人達のところに、勝利の神様が降りてくるのではないかなと思います。

そこで、運を味方につけるために、私が元旦から始めたのが一日一行感謝日記です。些細なことでもいいから、誰かに感謝したいことを一行書くという取り組みです。騙されたと思って、やってみてください。私は本当に運が上がった気がします。

そろばん十段も、もちろん努力が 99%なんですけど、「運」というのも多少あると思います。みなさんも感謝を忘れないで欲しいです。

最後に、長年ファクトリーに通わせてくれた両親、たくさんのことを教えてくれた先生方、ファクトリーに誘ってくれた親友、ファクトリーの仲間達、私はそろばんを通じて人として、成長することができました。本当にありがとう。

これからは月1回という短い時間にはなりますが、そろばんをまだ続けられるというのは本当に嬉しい限りです。今までありがとうございました。

みうら 三浦 かいん 札幌中央地区 433回検定（5月）

現在：札幌市立稲積中学校3年



私が人に誇れることは、そろばんを始めた小1の4月から今まで、そろばんの練習を休んだ日が1日もないことです。何時間と決めるとハードルが高いので、具合が悪くても出かけても5分でもいいのでそろばんをやると決め、続けてきました。そのおかげで、そろばん以外の大会やスポーツにもたくさんチャレンジすることができました。

十段チャレンジは、応用と開法でスタートしましたが、応用を落とすことも多く、保険のため伝票も中2からやり始めました。今までは検定前の1週間は集中するために、他の習い事もお休みしましたが、今回は平常心を心がけて前日も柔道の稽古に行きました。

本番では、応用と開法がまったくできた気がしなかったのですが、本部審査と聞いた時はとても驚きました。結果は、逆に自信のあった、かけと割がギリギリでした。本部審査は数字で

落とされることも聞きましたが、常に数字をきれいに書くことを根気強く注意してくださった先生のおかげで無事通過できました。

今までご指導いただいた先生方、一緒に練習した姉妹や仲間達、そして毎日送迎をしてくれた母と一緒に取った十段です。本当にありがとうございました。



祝 暗算 十段合格！



あんどう みつとし
安藤 充利 札幌中央地区 428回検定 (7月)

現在:札幌市立月寒中学校2年



僕はそろばんを始めて9年目に十段に受かることができた。そろばんを9年も続けられたのは、先生と両親が辛抱強く応援してくれたからと、大会で表彰状をもらうことができると嬉しかったからだ。

十段合格半年前から「もしかしたら受かるかもしれない」と思っていた。しかし、8・9段でも課題だった掛け算を中心として十段の練習をしていたのだが、掛け算が190点を超え始めた時に、以前の練習ではたびたび点数が190点を超えることがあった見取算の成績が落ち、なかなか受からなかった。それでも次こそはと思いながら練習に励んだ。練習で三種目すべてが190点を超えることが少ない中、あまり自信がないまま受けた7月の受験で合格できた。

たとえ練習で合格点があまり取れていなかったとしても、「自分はここまで頑張ってきたのだからきっと受かる」と思うことができたのなら、最高のパフォーマンスができると思う。

はせがわ ほたか
長谷川 穂空 札幌中央地区 第428回 (7月)

現在:北嶺高等学校1年



僕は、八段までは幼稚園の頃の練習量のおかげで割とスムーズに合格することができたと思います。

しかしそこから中学受験が近づき、そろばんをしない時期が4、5か月あり、技術が落ちてしまいました。

それでも、受験が終わり1年ほどで9段に合格し、そこから2年でやっと十段に合格することができました。今回こそは合格できると思って落ちたこともあり、自信をなくしたときもありましたが、合格することができて嬉しく思います。今後は珠算十段を目標に努力を続けていこうと思います。最後にいつも丁寧に教えてくださっている先生、親しくしてくれている仲間のみんな、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします！

しょうじ はると
東海林 大翔 札幌中央地区 第428回 (7月)

現在:札幌市立栄南中学校1年



ぼくは6回目の挑戦で十段に受かりました。十段合格が見えてきたのは4回目ぐらいからでした。4回目で見暗が合格点を取っていたので「次もしかしたら十段に受かるかも」と思いました。5回目、本部審査にはいったけど見暗で2題まちがえました。そこからは字に気をつけながら練習しました。そしたら見暗が全部終わらなくなってしまいました。

しかし本番当日、なぜか見暗だけ、1回もつまらずに全部できて終わりました。そして結果は195点、195点、190点でした。でも見暗で1個すごく怪しいところがあり、また今回もダメかと思いましたが、合宿中に結果がきて受かっていたということが分かりました。受かったということが分かったときはとてもうれしかったです。

最後に一緒に練習したり、がんばるきっかけにしてくれた仲間のみんな、ありがとう！

おおばやし ゆうし
大林 侑史 札幌中央地区 第428回 (7月)

現在:江別市立大麻泉小学校4年



かけ暗195点、わり暗195点、見暗190点で初めて十段審査にいきました。最初なので、毎日うかるのかなと緊張していました。合宿でケーキが出てきて十段に受かったとき、すごくうれしかったです。

とくにうれしかったことは、字バツがなかったことです。かけ暗とわり暗は、字がきれいだったけれど、見暗は、少し汚くしてしまいました。でも、字バツがなくてよかったです。次の目標は、珠算十段をとることです。

たかやま ひろ
高山 比呂 札幌中央地区 第431回 (1月)

現在:北海学園大学4年



小学2年生・4月。児童会館で大好きなボール遊びの時間を友達と楽しみにしながら待っていた時のことでした。急にいつもより2時間近く母親が迎えに来たと思えば、速攻で車に乗せられ、そこで放たれた一言。

「今からそろばんの体験行くよ。」

国語の授業だったら、「この時の心情を述べよ」と、いかにも質問されそうなシチュエーションですね。では早速正解を答えましょう。正解は…「は？怒」でした。きっかけは、おばあちゃん家に行く際に教室を見つけ、僕が興味を持ったところが始まりのようですが、正直覚え

てません。このようにして僕の初めてのそろばんの体験は、未熟な僕によって先生方からも僕からも最悪な印象で終わりました。

そこから謎の力で何故か入塾していた僕は、2年間ほど実力の伸びが遅い状態でした。それもそのはず。モチベーションがないからです。ですが、小学4年生のここの僕のターニングポイントとなる合宿と大会に、初めて参加しました。

当時、実力的に合宿の足切りすら通らなかった僕を参加させてくれた先生には、本当に感謝しています。普段と比べものにならない練習の量と種類、レクリエーション、夜の楽しさなど、合宿を通じて得られるものがたくさんありました。そしてこれをきっかけに、今までより成長スピードが跳ね上がり、その成長した実力で大会に参加できるようになり、大会での緊張感、友達と競う楽しさ、大会が終わった後の余韻。そのすべてが楽しくて、なんとここので初めてそろばんを好きになったのです。

そしてこの度、珠算歴12年、21回目の挑戦にして暗算十段に合格させていただきました。これまで書いてきた僕の珠算人生の生い立ちを見れば分かると思います。とても十段を取れる人には見えませんよね。けど、こんな僕でも、諦めなかったから、続けられていたから合格することができたんです。

つい先日のアバカスチャレンジで言ったことと被りますが、今段位で頑張っている人も、その下で頑張っている人も、まずは継続することを目標に努力して欲しいと思います。僕がとれて、努力してる皆さんがとれないはずがないですからね。

では、長くなってしまいましたが、これにて終わろうと思います。これからも友達と切磋琢磨できる最高の環境に感謝しながら努力を継続していきたいと思います。最後まで読んでいただきありがとうございました。

やまだ るい
山田 瑠心 札幌地区 **433回検定**

合格現在:札幌市立山鼻南小学校 5年

そろばんで学んだこと

私は幼稚園の年中から、そろばんを始めました。姉が二人とも通っていたので「私もやりたい!」と思ったからです。今では家より学校より、そろばん教室が大好きです。用事やほかの習い事で、そろばんを休まなければいけない日は「今日は行けないの?」と、とてもショックです。それくらい、そろばんをする時間が大好きです。教室で同じ年の桃佳ちゃんに出会ったことも、私にとって大きな出来事でした。何事にも一生懸命取り組む桃佳ちゃんを見て「私も頑張りたい!」と思うようになり、そろばんに本気で向き合うようになりました。暗算十段に合格できたのは、いつも明るく楽しく指導してくださる先生と一緒に頑張ってきた仲間のおかげです。みんながいる教室は、私にとって一番大好きな場所です。



珠算教育士資格取得申請

および珠算教育段位免許取得申請について

今年度も次のように、珠算教育士資格取得申請及び珠算教育段位取得申請を受付けます。
珠算教育士の資格は、検定試験委員の資格取得にも関係してきます。

試験委員委嘱の条件（委嘱期間 4 年）は下記の 2 点です

- ① 珠算教育士を取得していること
- ② 試験委員委嘱講習会を受講すること

基準単位

珠算教育士の免許を受けようとする者は、単位認定規則に定める単位を 80 単位以上取得していなければならない（単位には、研究系列単位 20 単位以上含んでいなければならない）

申請期間

★令和 8 年 10 月 1 日～10 月 31 日

★支部締切 令和 8 年 9 月 24 日（木）

免許料

正会員は 20,000 円

珠算段段位免許単位

教育段位免許に必要な単位は、初段 30 単位、二段 40 単位、三段 60 単位、四段 100 単位、五段 150 単位、六段 200 単位、七段 300 単位、八段 400 単位、九段 500 単位、十段 600 単位です。
免許料は 1 段につき 2,000 円です。

※取得単位数等の質問については、研修部にお気軽にお問い合わせください。多数の取得申請をお待ちしております。

北海道6支部合同珠算指導者講習会

- 1 日 時 令和8年11月1日（日）午後0時30分～午後3時30分
- 2 会 場 北海道立道民活動センターかでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）
電話 011-204-5100 地下鉄南北線さっぽろ駅徒歩9分
- 3 講 師 弥谷拓哉先生（埼玉県：そろばん教室USA）
- 4 演 題 『珠算人よ、大志を抱け！』～令和に求められる先生となるために～
- 5 持ち物 筆記用具
- 6 受講料 全珠連会員および助手 3,000円
会員外 5,000円
※当日会場受付で納入してください。なお、前々日までに欠席連絡のない受講生については、後日受講料を納入していただきますので、その旨ご了承ください。
- 7 申込締切 10月1日（木）までに、会員番号、氏名を記載し、地区長を通じ期日厳守のうえお申し込みください。会員でない方は、道央支部へ直接お申し込みください。※メールでの申込みにご協力ください
- 8 申 込 先 〒064-0802
札幌市中央区南2条西25丁目2-19 道央珠算会館内
公益社団法人 全国珠算教育連盟道央支部 研修部 宛て
TEL 011-644-1635 FAX 011-676-8668
Mail syuzan04@rondo.ocn.ne.jp
- 9 問 合 せ 研修部 門脇 （090-1640-3525）
- 10 そ の 他 主催：公益社団法人全国珠算教育連盟
開催：北海道6支部合同開催 担当：道央支部

弥谷拓哉 先生 プロフィール

- ★4歳からそろばん教室USAに通い始める
- ★7歳4か月で全国珠算教育連盟暗算十段獲得（当時史上最年少記録）
- ★平成23年度全日本珠算選手権大会 小学生そろばん日本一
- ★令和4年度&令和7年度 全日本珠算選手権大会 そろばん日本一
- ★令和5年3月 早稲田大学卒業
- ★令和5年4月 そろばん教室USAに就職
- ★令和5年 二十四代珠算名人 獲得
- ★令和7年 フラッシュ暗算ギネス記録獲得（3桁30口3.30秒）
- ★令和7年3月 自身が1+1から教えた生徒で初の十段輩出

行 事 予 定

令和8年（2026年）

- 8月30日（日）令和8年度全珠連道央支部定時総会
道央珠算教育振興会定時総会（ホテルライフオーポート札幌）
- 9月 5日（土）本支部連絡協議会（京都市）
- 9月 6日（日）全珠連本部定時社員総会（京都市）
- 9月24日（木）全珠連創立記念日
- 9月27日（日）第435回全珠連珠算検定試験（各地区）
- 10月18日（日）全日本通信珠算競技大会
- 11月 1日（日）第119回全珠連北海道地方連合会会議
北海道6支部合同珠算指導者講習会
（北海道立道民活動センターかでの2・7）
- 11月 4日（水）第2回執行部長会
- 11月10日（火）第2回常任委員・地区長会（珠算会館）
- 11月29日（日）第436回全珠連珠算検定試験（各地区）
- 12月20日（日）～21日（月）第9回人材育成講習会

令和9年（2027年）

- 1月10日（日）第49回北海道珠算選手権大会（ホテルライフオーポート札幌）
- 1月31日（日）第437回全珠連珠算検定試験（各地区）
- 2月21日（日）臨時総会／第3回執行部長会／第3回常任委員・地区長会（珠算会館）
- 3月14日（日）道央支部珠算指導者講習会（ちえりあ）
- 3月21日（日）第438回全珠連珠算検定試験（各地区）
- 3月27日（土）～28日（日）第73回全国珠算研究集会（京都府）オンライン開催

《編集後記》

☆広報部の『あかしや』を担当し2年目を迎えました。原稿の校正がどれほど大変かを痛感した1年でした。本部の皆様をはじめ全国の皆様方のご苦勞を痛いほど感じ、一つひとつのお仕事をこれからも丁寧なことを心掛けていきたいと思ひます。これまでの経験を通じ、仕事は人だと強く感じております。快く原稿依頼を引き受けてくださる皆様、何度ミスしても励ましてくれる執行部の皆様、足りない部分をどれほど補っていただいていることか。今後の支部運営を考えると、後継者の育成が喫緊の課題なのはどこの支部も同じでしょうが、人材不足の折、会員は減っても仕事の量は減っていません。☆そこに飛び込んできてくれる人がどれだけいることか……。AIに仕事を代わってしてほしいと思うのは私だけでしょうか（ちなみに今回のイラストはAIも使いました）ただ、私自身を振り返ってみますと、これまで楽しく仕事をしてきましたし、何より忘れてならないのは、その経験をしなければ得られなかった知識やスキルが、自身の知力となり、ひとつの無駄もなかったことです。（N. T. ）